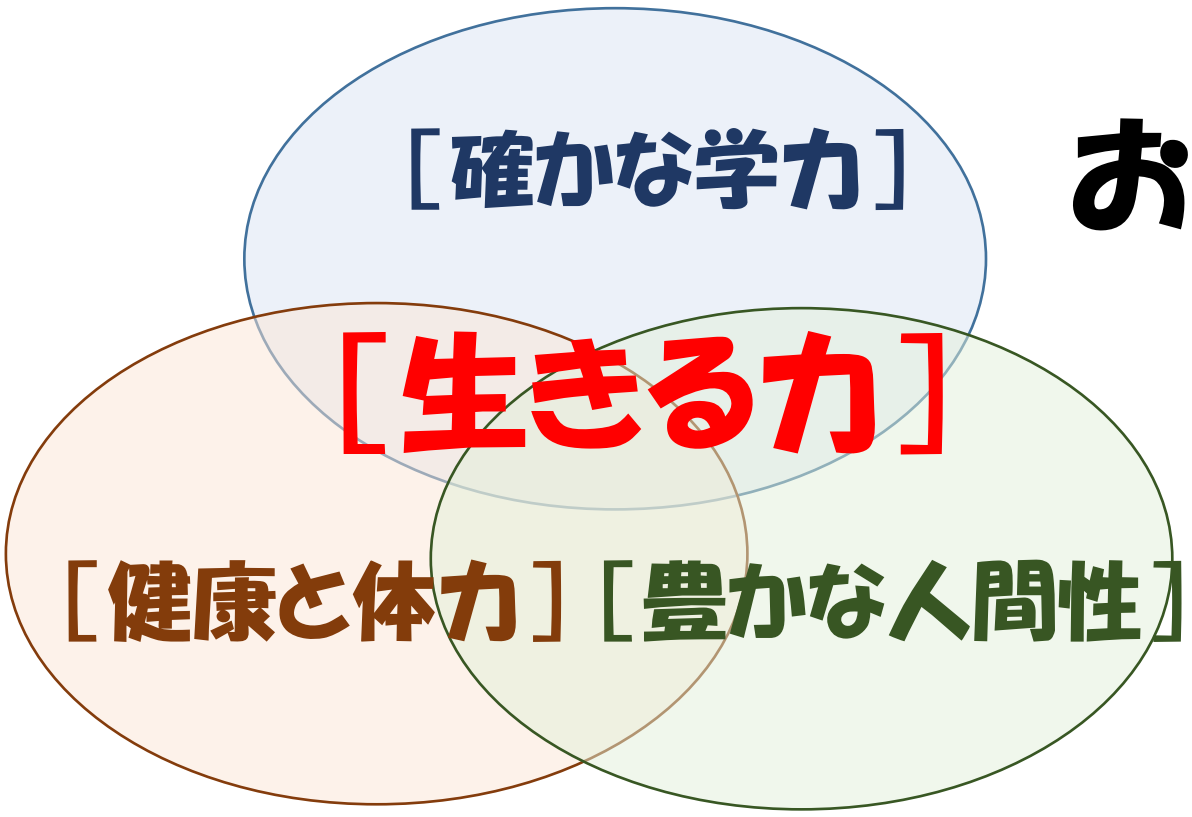
スカウト運動は、



お子さまに

『生きる力』を

つけます！

［生きる力］とは：学校で学んだ知識のみで社会生活を営むのではなく、子どもたち一人一人が自ら個性を発揮し、困難な場面に立ち向かい、未来を切り拓いていく力で、［確かな学力］［豊かな人間性］［健康と体力］の3要素を指します。

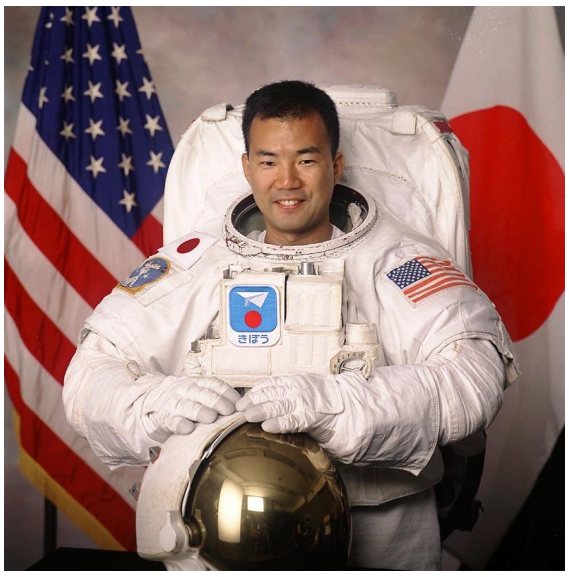
今の子供たちに足りないものを補います。

今の子供たちに「足りない」と指摘されている[論理的思考力] [問題発見力] [行動力・実行力] [学ぶ意欲] [判断力] [表現力]を養います。

社会におけるスカウト経験者の活躍は、スカウト活動を通じて、こうした力を身に着けることができたことを証明しています。

登山家 野口健さん

マイクロソフト創設者 ビルゲイツさん



宇宙飛行士 野口聡一さん

スカウト運動は、
お子さまの可能性を伸ばします。

社会性・協調性・リーダーシップ

お友達、特に年齢の異なる仲間との小集団活動を通じ、社会性・協調性・リーダーシップを養います。

自然・国際体験

野外での活動はもちろん、世界中のスカウトとの交流を通じて、ご家族だけでは得られない様々な体験ができます。

発達段階に応じた個人教育

しつけや規律だけでなく、お子さまの興味に合わせた幅広い魅力的なプログラムを経験し、個性と興味を伸ばします。

役立つ技能の習得

キャンプに限らず「イザ！」というときに役立つ技能が身に付きます。

自立心や生命をいたわる心

生き方について、自分自身で考える機会が得られます。

スカウト運動は、

B-P 卿

世界中に4,000万人の仲間がいる世界最大の青少年教育運動です。

1907年 イギリスでB-P(ベーデン-パウエル)卿が提唱した野外活動を基本とする教育方法を基に、自然発生的にはじまった運動です。
2015年8月 山口きらら浜で開催された「第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)」には、世界155ヶ国から、34,000人の仲間が集いました。
年代別に、ビーバー(小学校入学前から)、カブ(小学3年から)、ボーイ(小学6年から)、ベンチャー(中学3年から)、ローバー(18歳から)の各隊に分かれて活動します。

日本派遣団
シンボルマーク

世界のスカウトは、

メッセンジャーズ
・オブ・ピース

「平和の騎士」として、
活動・活躍しています。

1920年「第1回世界ジャンボリー」で、B-P卿は、各国のスカウトたちに「君たちは『平和の騎士』として、世界中に『平和：安全と健康で、楽しく暮らせる社会』が実現するように活動してほしい」と、語りました。

スカウト教育の4つの柱「人格・健康・技能・奉仕」により、「よき社会人」育成を目指し、「平和な世界」実現に役立つ若者を、社会に送り出しています。

今日も、「そなえよつねに」のモットーで、研鑽に励んでいます。

日本のスカウトも、

1921年の関東大震災の時から、
災害支援を始めとする、さまざまな
奉仕活動を行っています。

「自治の三訣」
人のお世話にならぬよう、
人のお役に立てるよう、
そして報いを求めぬように。
(後藤新平　日本連盟初代総裁)

スカウトは熊本でも、

「ボーイスカウト災害ボランティア熊本活動基地」で支援活動を行いました。

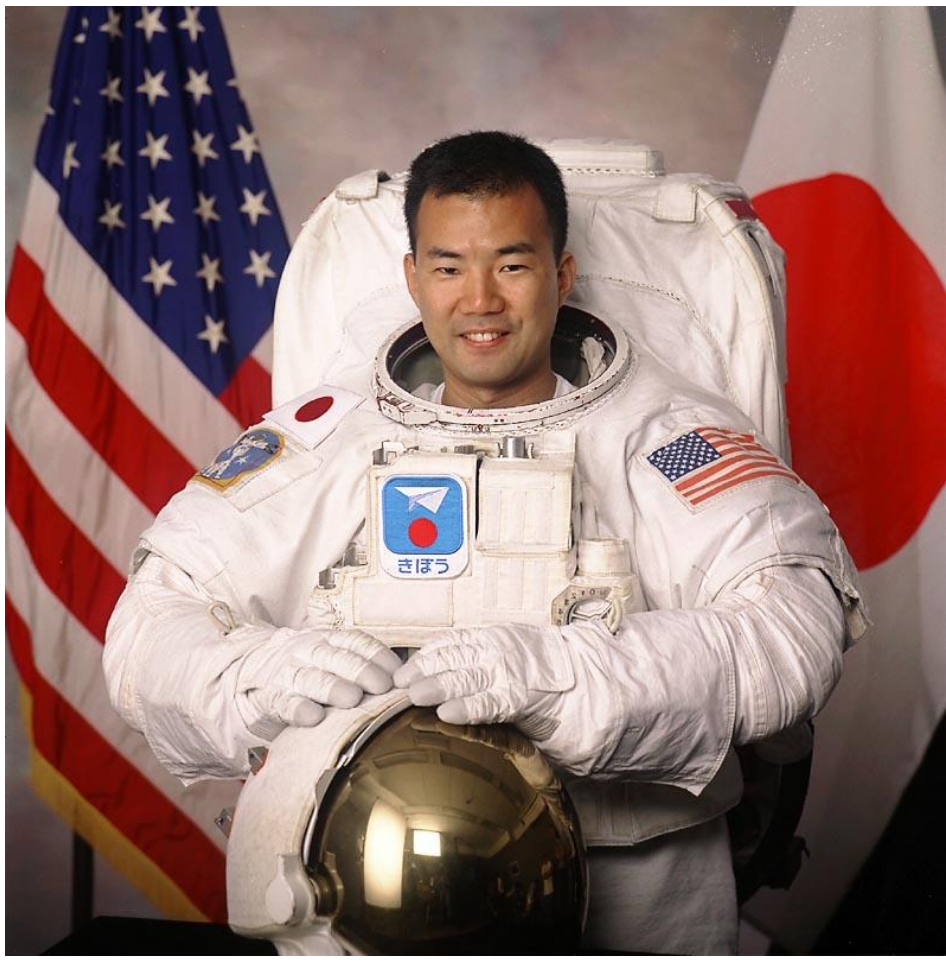
2016年4月に発生した熊本地震でも、いち早く現地入りした仲間たちが、地震発生直後から災害支援活動を始めました。

震災の2週間後には「ボーイスカウト災害ボランティア熊本活動基地」を開設し、8月末まで継続的に活動しました。

スカウト経験者は、-1

社会の様々な分野で、活躍しています。

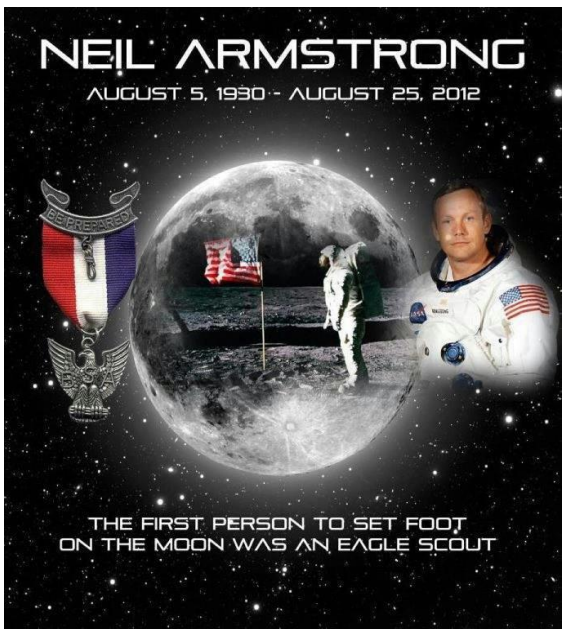
キャンプやハイキングの野外技能だけでなく、異なった年齢の仲間との協力・競争経験による協調性やリーダーシップを身に着けたスカウトは、社会の様々な分野で活躍しています。



宇宙飛行士

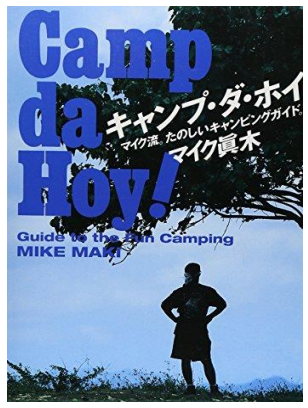
子供のころからスカウトを続けていることが評価され、日本人5人目の宇宙飛行士となった、野口聡一さん(茅ヶ崎第2団指導者/ボーイスカウトアンバサダー)。

月に降り立った宇宙飛行士の12人中11人が、ボーイスカウト出身者です。



スカウト経験者は、-2

音楽家



ドリームズ・カム・トゥルー中村正人さん、映画・ドラマ音楽で活躍する佐藤直紀さんは二人とも千葉県連盟の出身。キャンプの定番ソング「キャンプだ、ホイ！」の作者 マイク真木さんは東京連盟です。

実業家

マイクロソフトのビル・ゲイツさん、トヨタの豊田章男さん、ミズノの水野正人さん(スカウトアンバサダー)もスカウト仲間です。
ホンダの本田宗一郎さん、ソニーの井深大さんは、日常的にスカウト運動に参加・支援してくださいました。

研究者

日本連盟理事長 奥島孝康さん(早稲田大学元総長)を始め、現在活発に活動している西之新島の調査や、草津白根山、立山の火山活動をしている東京工業大学教授 野上健治さんも、太陽光発電の世界的な権威資源総合システム 一木修さんは「100㎞ハイク」通算20回以上完歩のツワモノです。

社会で活躍するスカウト出身者を、調べてみよう！

スカウトは世界に、

2012年 B-P峰 登頂！

慶応ローバース
(Baden Powell Scout Peak)

世界スカウトジャンボリーへの派遣・奉仕やホームステイだけでなく、各国のジャンボリーへの参加や、海外派遣、国際キャンプスタッフ奉仕など、大学生年代のローバースカウトはもちろん、中学・高校生年代のボーイ・ベンチャースカウトでも、海外との交流を楽しめます。

アメリカ連盟 国際キャンプ スタッフ派遣

写真：1972年 足立3団大藪スカウト

国内でも、世界中のスカウトたちと、

ホームステイ受入れや、交流事業への参加、JOTA/JOTIでの通信やインターネットでの交流、世界機構が支援する「平和の騎士」「メッセンジャー・オブ・ピース」活動に参加し、交流・共に活動することができます。

2015 年マーク

JOTA：ジャンボリー・オン・ジ・エア アマチュア無線交流大会
JOTI：ジャンボリー・オン・ジ・インターネット インターネット交流大会

スカウトは、社会から期待されています。

ビーバースカウトは、

集会に参加すると章が都度もらえます。

カブスカウトは、 (学年ごと設定)

課題をクリアすると進級し、バッジをつけます。

ボーイスカウト以上は、

年齢に関係なく、課題に取り組みます。 進級の都度、団の面接や団や地区、市長や知事からの顕彰を受けます。
高校生以上で、スカウト進級の最高峰「富士スカウト章」取得者は、皇室や内閣総理大臣から、顕彰され、懇談会も行われます。

スウェーデンのグスタフ国王など、スカウト運動に携わる・支援してくださっている要人との懇談会もあります。

オリンピックや、各種国際大会に奉仕しています。

選抜高校野球大会(甲子園)

明治神宮

フィギュアスケート大会(さいたまアリーナ)

スカウト運動で、

一生の友人が
見つかります。
世界中に
仲間ができます。

人生の「道しるべ」を見出し、
くことができます。

ご両親の
子育ての悩みを解決するお手伝いをするだけでなく、

お子さまの
能力を伸ばし、社会で活躍できる「よき社会人」を育てます。

野外活動の技術だけでなく、
これからの社会に必要な、

「生きる力」を
早期に身に着けることができます。

多様な経験・体験活動で、
個性を生かし、お子さまの適性に合った分野が見つかります。

ご両親も、
他のご家庭のお子さん・ママ友/パパ友との交流を通じ、
子育てだけでなく、地域社会とのつながりもできます。

注：この資料は、ボーイスカウト市川第5団　小松誠様より提供いただきました。

君も、あなたも、
スカウト運動の仲間に
なってみませんか？

日本ボーイスカウト千葉県連盟　船橋地区
ボーイスカウト船橋第14団

申込み・お問い合わせ
URL:http://funabashi14scout.net/
E-mail：　t.mochiki@ab.auone-net.jp **持木まで**

お気軽にご連絡ください。